

第 6 回マルチスケール材料力学 シンポジウム 講演募集

開催日 2021年5月21日(金)(オンラインポスター)
2021年5月28日(金)(口頭発表)
講演申込締切 2021年2月8日(月)

※新型コロナウイルス感染予防のため、口頭発表がオンラインもしくはハイブリット(対面+オンライン)での開催になる可能性があります。

主催 日本材料学会
協賛 応用物理学会, 化学工学会, 高分子学会, 精密工学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本応用数理学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本計算工学会, 日本原子力学会, 日本高圧力学学会, 日本航空宇宙学会, 日本材料強度学会, 日本セラミックス協会, 日本船舶海洋工学会, 日本塑性加工学会, 日本鉄鋼協会, 日本非破壊検査協会, 日本複合材料学会, 日本溶接協会, 溶接学会 (予定)

期日 2021年5月21日(金)(オンラインポスター)
2021年5月28日(金)(口頭発表)

会場 山口大学・常盤キャンパス
(〒755-8611 山口県宇部市常盤台 2-16-1)

趣旨 本学会マルチスケール材料力学部門委員会では、実験・解析の両面からミクロ・メゾ・マクロにまたがる力学問題や材料物理課題などの幅広い研究分野を対象に、このような研究分野における研究者・技術者が一堂に会し、研究の現状と将来動向を議論する場として、年 1 回のシンポジウムを開催してまいりました。第 6 回となる今回も、若手からベテランまで様々な立場の方々にご発表いただき、お互いの交流を深めることで、さらなる材料研究の発展および議論の活性化を促したいと考えています。材料の、物性特性、変形素過程、組織と力学の関係、変形・破壊現象のサイズ効果など様々なスケールに現れる未解明な力学現象を対象とし、例えば、第一原理計算などによる電子物性研究、マルチスケール・マルチフィジックス解析の方法論、分子動力学法および関連手法を用いたモデリング研究、ナノ・マイクロスケール領域の力学実験研究や組織観察研究、転位論・結晶塑性論に基づく固体力学研究など、様々な研究アプローチによる発表を幅広く募集いたします。

今回のシンポジウムでは、大阪大学の渋谷陽二先生より、「トップダウン形式のマルチスケールモデリングのためのマイクロ連続体力学モデル —Micromorphic 体と Micropolar 体—」、東北大学の燈明泰成先生より、「マイクロ/ナノ材料の接合・改質・評価〜より有効に微細材料を活用するために〜」と題して、ご講演頂く予定です。なお、ご講演タイトル等は変更になる場合がございますのでご了承ください。また、優れた内容の発表に対しては優秀講演賞・優秀学生講演賞が贈られます。なお、新型コロナウイルス感染予防のため、ポスター発表は口頭発表とは別日のオンライン開催にいたしました。ふるってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

発表形態 以下の 2 通りからご希望の発表形態を選択し、講演申込みと併せてご連絡ください。

(a) 口頭発表 (20 分, 質疑応答を含む)
(b) オンラインポスター発表(オンラインのみ, 現地発表なし)
なお、講演会場とプログラムの関係からご希望に添えない場合や口頭発表の時間を多少変更させていただく場合がございますことをご了承ください。

講演申込締切 2021年2月8日(月)(必着)

講演原稿締切 2021年4月23日(金)(必着)

講演論文原稿 A4 版にて発表形態に応じて次の通りとします。
(a) 1~4 ページ, (b) 1~2 ページ (執筆要項の詳細は講演申込受理後に送付します)

参加登録料 日本材料学会第 70 期通常総会・学術講演会併設行事としての参加登録料が必要となります。シンポジウムのみ参加の場合は以下の通りとなります(オンラインポスター、口頭発表の両日に参加できます。なお、講演論文集は含みません)。

・日本材料学会会員 1,500 円, 同学生会員 500 円

・非会員 3,000 円, 学生非会員 1,000 円

なお、詳細は本誌 11 月号会告および日本材料学会ホームページ (<http://www.jsms.jp>) 掲載の第 70 期通常総会・学術講演会案内をご覧ください。

講演論文集 会員(シンポジウム協賛学協会を含む) 3,000 円
非会員 4,000 円

講演申込方法 日本材料学会ホームページ (<http://www.jsms.jp>) の第 6 回マルチスケール材料力学シンポジウム講演申込フォームよりお申込み下さい。シンポジウム講演申込の際にお届けいただいた個人情報は、本シンポジウムに関する諸連絡のみに使用させていただきます。